

# 大学と地域

長崎大学は、年間予算規模550億円、学生数9100名、教職員数2900名の一大組織体です。教職員の家族を含めると長崎大学関係者は約2万人、長崎市の人口の約5%を占める計算になります。自ずから、地域に大きな影響力を有する存在なのです。

現在、我が国の人口は減少に転じ、急速な高齢化が進行しています。長崎県においてその傾向は顕著で、地域の活性化の阻害要因ともなっています。その意味では、18歳から20歳代半ばの学生集団1万人の存在は貴重です。成熟前の柔軟性に富む感性と破天荒なアイデア、そして無尽蔵の行動力を有する学生たちが、地域活性化の大きな力になることは間違いありません。

研究成果を地域に還元することも大学の重要な地域貢献です。構造的経済不況、エネルギー・食糧問題、環境破壊、感染症など現代の地球規模課題の影

響は、国内では地方において顕著にあらわれます。地方大学として世界と人類に貢献する新しい価値観の創造にまい進しなければならない所以です。長崎大学は地域に根ざし、地域との連携を通して、世界に個性の光を放つ大学であり続けたいと思います。

そのためにも、地域の皆様とつながることのできる絆を、一つでも多く作りたいと思います。すっかり長崎の秋冬の恒例行事となった「長崎大学リレー講座」、客席数100の小音楽ホール「長崎創楽堂」や、地域のシンクタンクとしての「核兵器廃絶研究センター」は、そのような絆としての役割を確実に果たし始めています。

人口の減少は地域が最優先で取り組むべき最重要の課題です。そのカギは、若者が目を輝かして働き、活動できる環境の創生にあります。地域における大学の役割はとてつもなく大きいのです。



長崎大学長 片峰 茂

## CONTENTS

長崎大学広報誌  
[チョーホー]  
Choho Vol.46

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌Choho vol.〇から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

学長室だより	大学と地域	1	表紙のはなし
特集	地域で活かされる長崎大学の「知」	2	片淵キャンパスは、長崎市の登録文化財にもなっている瓊林会館をはじめ、煉瓦倉庫や石造りのアーチ橋があるクラシックで美しい風景が自慢です。今回のモデルは2013年長大祭でミスキャンパスに選ばれた中川亜梨沙さん。朝から冬の雨が降り続いていたのですが、一瞬雲の切れ間から顔を出した太陽が濡れた石畳を照らすラッキーな一枚となりました。
シリーズ	長崎大学のいま!「経済学部」	11	
TOPICS	グローバル教育・学生支援棟オープン	15	
TOPICS	多文化社会学部	17	
グラバー図譜	ヒメジ	19	
Information	入学試験情報、卒業式、入学式	21	
	長崎大学「通」クイズ	22	
	編集後記	22	